

世界の地域から

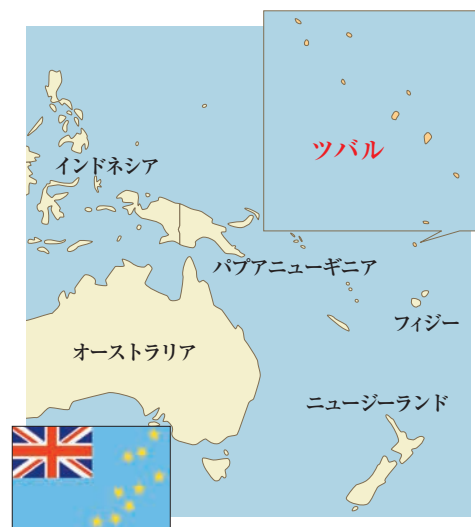
ツバルで唯一の飛行場と滑走路があり、首都フナフチのあるフナフチ島。島の中で、幅の狭いところは10m程度しかないそうです
© shuichi endou / NPO Tuvalu Overview

ツバル

オセアニアに浮かぶ9つの島からなるツバル。国名はツバル語で「8つの島」を意味します。これはイギリスから独立した時、8つの島に住んでいた人たちで国を立ち上げようという意味を込めて名付けられました。

面積は約26km²で、東京都品川区とほぼ同じ面積です。人口は約1万人。海拔が最大で5mしかないため、近年の地球温暖化により国土面積が急激に減少しています。このまま温暖化が進めば国自体が水没してしまう危機に瀕しています。

どこまでも続く青い海と空。この美しい国を守るためにも、ツバルが直面している問題の原因は私たち先進国の暮らしにあることを忘れてはいけません。



Tuvalu



3



- ①メインストリート。昼は暑いので人はほとんど歩いていません。またメインストリートと言ってもお店などがあるわけではないので、とても静かな通りです
- ②学校での授業風景。机やいすがなくても熱心に勉強する子どもたち
- ③町役場です。この中に、裁判所や環境保護セクションがあります
- ④図書館もあります。海外から寄付された本が収蔵されています
- ⑤飛行場の建物。国際空港なので、ここで入国・出国の手続きをします



6



1



2



8



9



4



5

- ⑥この小さな島では、人々はどこにでも歩いていくことができます。バイクや自動車は高級車とみなされていて、自動車は100台ぐらいしか走っていません
- ⑦商店街の様子。私たちが日ごろ目にする商店街の様子とはだいぶ違います。自給自足をベースにしたツバルの生活では、少ない品揃えでも十分なのです
- ⑧伝統的な結婚式の衣装
- ⑨船も生活の足として活用されています。島の人たちしか分らない「海の道」があり、人々が行き交っています



7



⑩波にさらわれなくなった道路です。コンクリートで補強してありますが、この道路自体がなくなってしまうのも時間の問題だと思います

⑪波によって道路が削られています。根元を削られてやしの木も倒れかけています

⑫かつてはまっすぐ生えていたやしの木も、温暖化による海面上昇の影響で波により削られ倒れかけています。ツバルに住む人たちは全く原因がないのに、この国は水没の一端をたどっています…



⑬周りを海に囲まれているツバルでは「水」が重要な資源です。造水機によって作られた真水の配給は朝晩2回、1家族につきバケツ2杯と決まっているので、お風呂は海ですまさないといけません

⑭飛行場を作る際に掘った穴が今でも運河として残っています。ツバルではゴミ処分に対していろいろ取り組んできましたが、燃えないゴミは運河に捨てるだけです。処分場も作れないし、ほかの国にゴミを引き取ってもらってもお金もない…海面上昇だけではなくゴミ問題もツバルでは深刻化しています

写真提供：遠藤秀一（写真家/NPO Tuvalu Overview 代表）
<http://www.tuvalu-overview.tv/>